

# 第26回 化粧品包装セミナー

## —プラスチック化粧品容器に求められるサステナビリティと安全性—

日程：平成31年3月28日（木）12:30～16:50

会場：公益社団法人日本包装技術協会 A会議室

主催：公益社団法人日本包装技術協会

### ご参加のお勧め

近年、全世界での持続可能な社会を目指した取り組みの動きが加速しており、包装分野では新しい技術や素材の開発普及が求められています。化粧品容器開発においても、環境に配慮した技術・素材選定は必須であることから、今回は、環境配慮につながる包装材料に焦点をあててプログラムを編成しました。

平成最後となる本セミナーを通して、未来に向けた包装開発の一助になれば幸いです。

また、恒例のプログラム最後の講師の方々と企画委員とでの質問コーナーも開催する予定です。

どうぞこの機会に数多くの方々の参加をお待ちしております。

企画委員一同

### プログラム

時間	講演内容	講師
12:30 ▼ 13:20	<p><b>講演①『フレキシブルパッケージの循環型社会を考える —リサイクル性の向上—』</b></p> <p>近年、容器包装の持続可能性に対する意識が世界中で高まっています。ダウとバリューチェーンにおけるパートナーにとって、われわれの責任は、資源消費と廃棄物を削減しながら性能と生産性を高めるイノベーションを提供していくことです。性能を追求するダウの技術と持続可能性トレンドへの取組みをご紹介します。</p>	<p>ダウ・ケミカル日本株式会社 ポリエチレン事業部 バリュー・チェーン・マーケティング <b>伊木 彩乃 氏</b></p>
13:30 ▼ 14:20	<p><b>講演②『環境配慮型材料バイオプラスチック～ポリ乳酸(PLA)を中心に～』</b></p> <p>海洋ごみの話題を筆頭にプラスチック悪玉説が流れて久しい。実際にはプラスチック悪玉説に合理的な根拠があるとはいえ、また全廃への運動は現実的な対応になりえない。従来型の石油プラスチックの使用量を抑制すること事態は方向的に正しいといえようが、廃止できない用途においてはバイオプラスチックに置き換えることで環境配慮を謳うことが可能となる。</p> <p>ところでバイオプラスチックを使うことが環境配慮につながるということは漠然と認識されてはいるものの、実際にバイオプラスチックとは何か、或いはバイオプラスチックに置き換えることがなぜ環境によいのかという点を正しく理解している人は少なく、また各種媒体にて報道される内容にも事実を正しく伝えていないものが散見される。</p> <p>本講演ではそのあたりに力点を置きバイオプラスチック概論について説明する。</p> <p>また、植物由来且つ生分解性を有するポリ乳酸（PLA）について掘り下げて説明する。</p> <p>なお、本講演内容は化粧品容器のみに特化せずあらゆる包装容器に共通するものであることを事前にお断りしておく。</p>	<p>トタルコービオンPLA b.v. 日本連絡事務所 代表 <b>金高 武志 氏</b></p>
14:30 ▼ 15:20	<p><b>講演③『低ホルムアルデヒド化による低VOC POM樹脂、ポリケトン樹脂（PK）の紹介』</b></p> <p>昨今の傾向の低VOC化による中で、特にホルムアルデヒド対策に対応した材料の紹介をします。また、ポリケトン樹脂は環境問題に配慮した材料となります。</p>	<p>東京材料株式会社 高機能材料事業部 開発部長 <b>田中 利則 氏</b></p>
15:30 ▼ 16:50	<p><b>『質問タイム』 回答者：講演者①②③・セミナー企画委員※予定</b></p> <p>化粧品パッケージについて事前に参加者の皆様に質問用紙を配布し質問を受け付けます。 上記講演に関する質問と併せて、講演者と本セミナー企画委員（一部）にそれぞれの立場でお応え頂きます。</p>	

### 化粧品包装セミナー企画委員 \*本催しは各企業から代表された企画委員によりプログラムを編成しております

主査 住瀬 雅広 氏 株式会社DSC 代表取締役社長  
木本 喜久 氏 株式会社資生堂 パッケージ開発センター 外装企画グループ マネージャー  
鈴木 智晴 氏 株式会社ポーラ デザイン研究室 アートディレクター  
岡 政弘 氏 花王株式会社 包装容器開発研究所 グループリーダー  
加川 泰央 氏 株式会社コーセー 商品デザイン部 設計開発室 設計1課 課長



# 講師のご紹介

## 伊木 彩乃(イキ アヤノ)氏

ダウ・ケミカル日本株式会社 ポリエチレン事業部  
バリュー・チェーン・マーケティング

### 【ご略歴】

2013年4月 ダウ・ケミカル(株)入社 サプライチェーンロジス  
ティクス  
2017年8月 同社ポリエチレン事業部にてバリュー・チェーン・  
マーケティングとして日本韓国を担当

## 金高 武志(カネタカ タケシ)氏

トタルコーピオンPLA b.v. 日本連絡事務所 代表

### 【ご略歴】

横浜国立大学にて高分子化学を専攻、工学修士。凸版印刷(株)  
にて包装資材の研究開発に従事、ロームアンドハース社(米)にて  
ポリ乳酸用添加剤及びバイオポリエチレンの拡販等に従事、パー  
ストープ社(瑞)にてポリカプロラク톤の拡販等に従事、現職に  
てポリ乳酸の拡販に従事。  
日本バイオプラスチック協会 技術委員長

## 田中 利則(タナカ トシノリ)氏

東京材料株式会社 高機能材料事業部  
開発部長

### 【ご略歴】

1993年 東京材料株式会社入社  
2013年 東京材料タイランド出向 アセアン統括開発部長  
2018年 同社 高機能材料事業部 開発部長



## 講演要領

日時:平成31年3月28日(木) 12:30 ~ 16:50

会場:「公益社団法人日本包装技術協会 A会議室」  
東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

参加費:会員14,040円(消費税・テキスト代含む)  
\*同時に3名以上でお申込みの場合には、  
割引価格として1名12,960円(消費税・テキスト代含む)  
一般18,360円(消費税・テキスト代含む)

定員:80名



## お申込み方法

- 本紙申込書に必要事項を全てご記入の上、FAXにてお申込み下さい。  
協会ホームページからお申込みできます。  
\*協会ホームページ: <http://www.jpi.or.jp> を検索し、各種・催事から「第  
26回化粧品包装セミナー」を開いて下さい。ページ末の申込みフォー  
ムに必要事項をご記入して送信下さい。
- 申込みされた方には、後日参加証と請求書をお送りします。
- 当日、ご都合が悪くなった場合、代理の方の出席は差し支えありません。  
(受付にて名刺をご提出いただけます)
- 開催3日前からのキャンセルによる参加費のご返金はできませんので  
ご注意下さい。



## お問合せ並びに申込み先

公益社団法人日本包装技術協会 化粧品包装セミナー係 担当:竹内  
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F  
TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

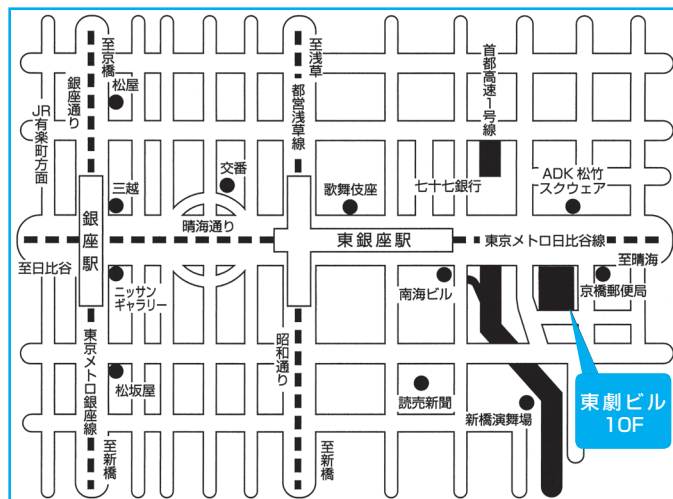
### 【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「第26回化粧品包装セミナー」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

## 会場案内図

■会場:公益社団法人日本包装技術協会 A会議室  
東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

■アクセス:地下鉄メトロ日比谷線・東銀座駅下車 6番出口より徒歩1分  
都営地下鉄浅草線・東銀座駅下車 6番出口より徒歩2分



## 第26回化粧品包装セミナー(3月28日開催)参加申込書

公益社団法人日本包装技術協会 化粧品包装セミナー係 担当:竹内 FAX.03(3543)8970 No

会社名					JPI会員 ・ 一般 (どちらかに○を付けて下さい)
所在地	(〒 )				
電話			FAX		
参加者名	所属役職		e-mail		
	所属役職		e-mail		
	所属役職		e-mail		